

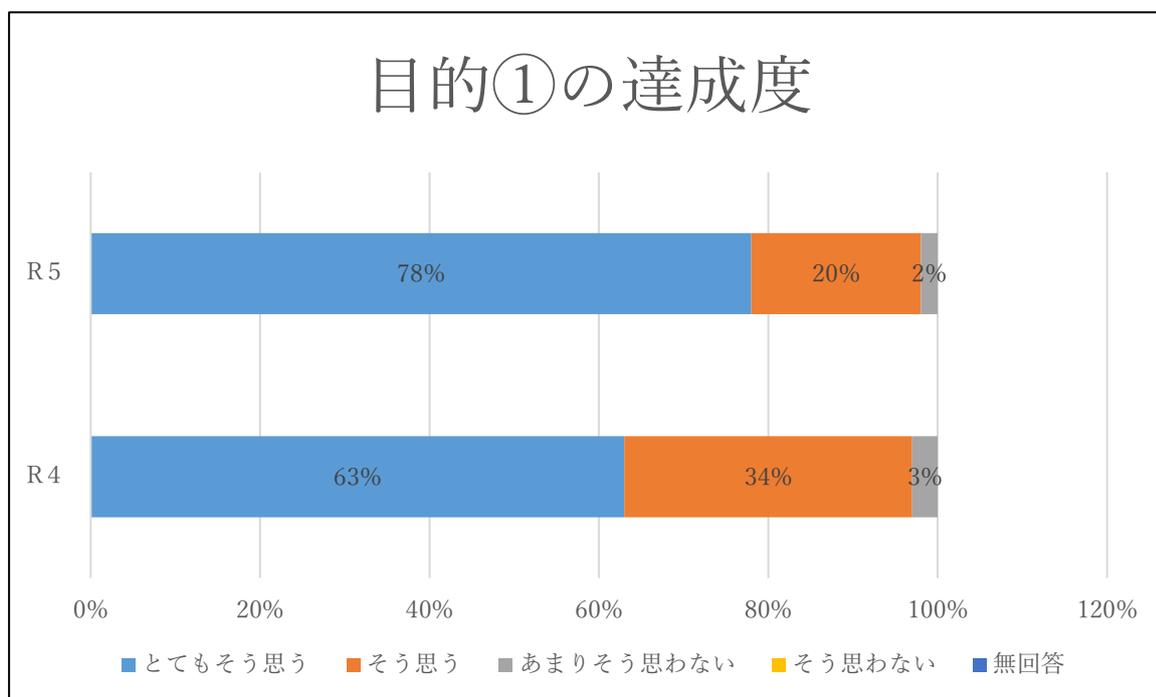
「放課GO!GO!」保護者アンケート集計結果

【回答率】

配布数：152通 回答数：93通 回答率：61.2%

(1) 目的① 子どもの安全、安心な居場所を作る

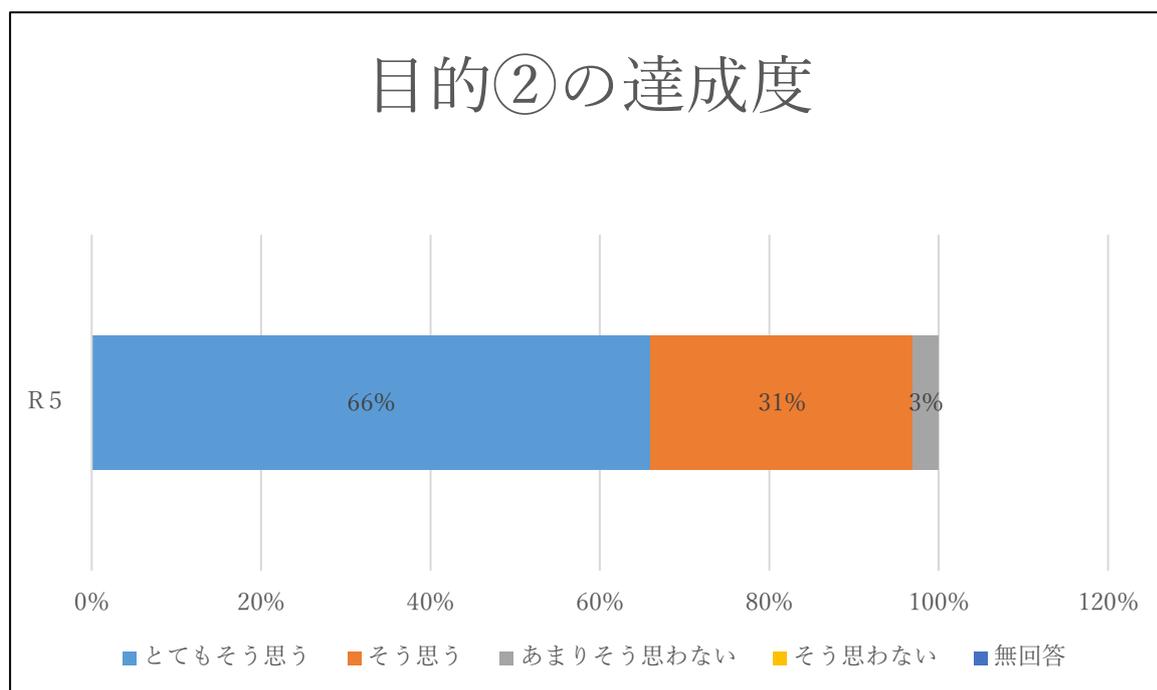
【アンケート結果】



【傾向】

昨年度より評価が改善傾向となっている。研修の実施によりサポーターの資質向上を図ったこと、新型コロナウイルス感染症対策が緩和されプログラムの幅が広がったこと、消毒作業等の負担が減り市教委職員やサポーターが子どもたちを見守りやすくなったことなど、複合的な理由が背景にあると思われる。

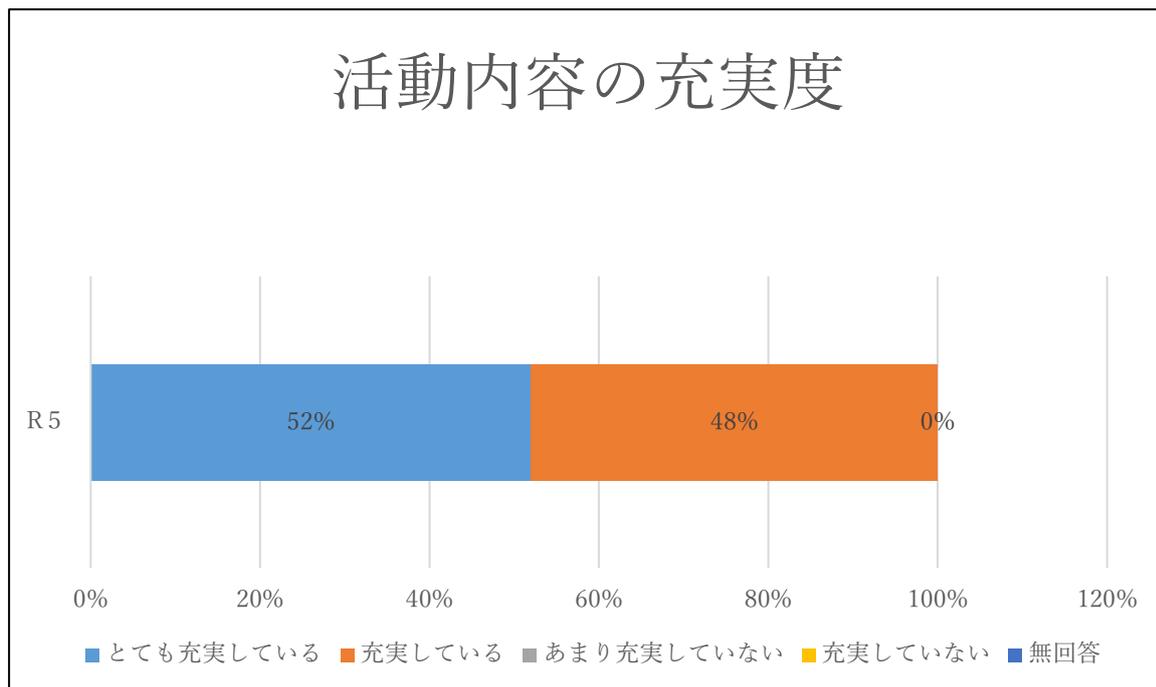
(2) 目的② 子どもを見守り育てる環境作りを地域ぐるみで行う風土を醸成する



【傾向】

肯定的な評価が全地区で90%を超えた。コロナ禍が緩まり、地域とのかかわりをより多く求めるニーズの表れであると共に、サポーターの継続的・安定的な確保が依然として課題であることが背景にあると考えられる。なお、今年度は新規のサポーターが8名加入した。今後も登録児童の保護者や市役所の退職者などに加入を呼び掛けていく。

(3) 放課GO!GO!の活動内容は充実していますか？

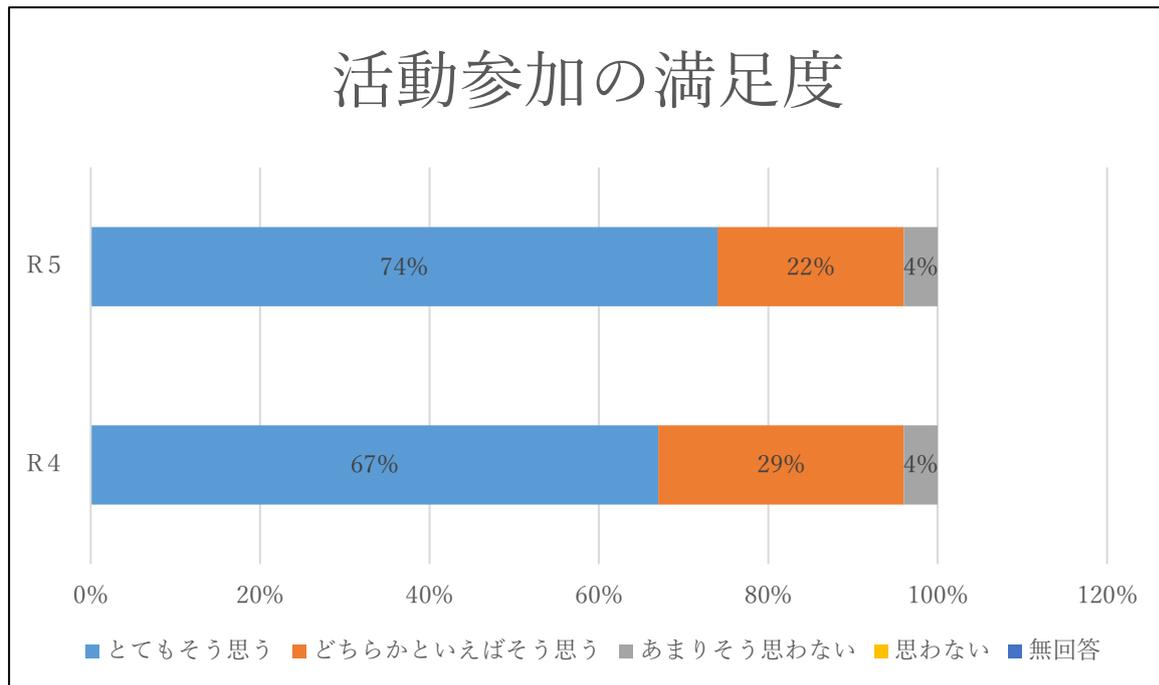


【傾向】

特に「地域探検タイム」で「子ども110番の家」を訪問する活動への反響が大きかった。また、家庭では体験させられない内容を評価する意見が見られたことから、地域住民とのつながり作りや体験活動の充実が保護者のニーズであることが読み取れる。

高学年児童の保護者からはマンネリ化を指摘する声もあるが、地域住民のサポーターと共に小学校の全学年を対象にする以上、誰もが楽しめる内容であることが大切である。また、高学年児童にはリーダーとして振る舞い、学年の枠を超えたつながりの強化を期待したいところであり、そのような姿を価値づけながら指導していく。

(4) 放課GO!GO!に参加させて良かったと思いますか？



【傾向】

- ・昨年度より改善傾向にある。目的①及び活動内容の充実との相関性が見られ、全体的な満足度が高くなったためと考えられる。